令和5年度 東南アジア地域技術交流運営委託事業

概要

1. 事業の目的

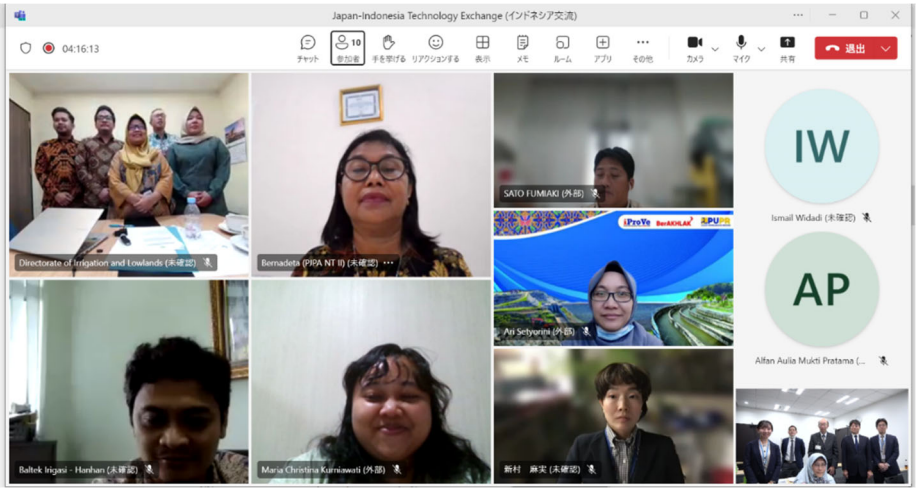
我が国は、これまで東南アジア地域を中心とする開発途上国の農業農村開発の効果的な推進に資する技術開発等を行ってきたところであるが、昨今の開発途上国の経済発展、SDGsを始めとする国際的な開発目標の設定等に伴って、その方法論は徐々に変化してきている。

このため、本事業により実施する技術交流において、開発途上国における農業農村開発の課題を把握し、その課題の解決策等を提案することにより、これらの国の発展に寄与するとともに、我が国の有する農業農村開発に有益な技術の更なる普及、展開を図るものである。

2. インドネシア共和国との技術交流の実施

農林水産省農村振興局（以下「農村振興局」という。）とインドネシア共和国（以下「インドネシア」という。）公共事業・国民住宅省水資源総局との間で署名された「かんがい排水技術交流に関する議事録」に基づき、「気候変動対策としてのかんがい排水管理について」をテーマとして両局間で実施された技術交流について本事業で運営支援等を行った。

この交流は、令和６年３月１日（金）にWEBにて開催され、日本側より農林水産省農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室の鷲野室長等、インドネシア側からは公共事業国民住宅省水資源総局かんがい沢沼局のイスマイル局長等が出席した。



集合写真（screenshot）

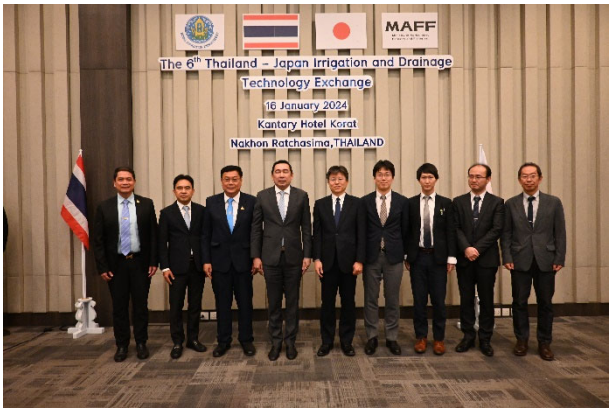
3. ベトナム社会主義共和国との技術交流の実施

農村振興局とベトナム社会主義共和国（以下「ベトナム」という。）農業農村開発省水資源局（旧：水資源総局）との間で署名された「かんがい排水分野の技術交流に関する協力覚書」に基づき、「気候変動に対する水管理対策及び水利用効率化の取組」をテーマとして両局間で実施された技術交流について本事業で運営支援等を行った。この交流は、令和６年３月８日（金）にWEBにて開催され、日本側より農林水産省農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室の鷲野室長等、ベトナム側からは農業農村開発省水資源局のフォン局長等が出席した。

集合写真(東京・WEB)

4.　タイ王国との技術交流の実施

農村振興局とタイ王国（以下「タイ」という。）農業・協同組合省王室かんがい局との間で締結された「かんがい排水分野の技術交流に関する協力覚書」に基づき両局間で実施された技術交流について本事業で運営支援等を行った。この交流では、令和６年１月１５日（月）～１９日（金）において日本側がタイ国へ渡航し、政策対話、技術セミナー、現地視察（ムン川上流かんがい維持管理プロジェクト及びカラシン県カマラサイほ場整備地区）を行った。日本側より農林水産省農村振興局整備部の緒方和之部長等、タイ側からは王室かんがい局ウィッタヤ・ケウミー局次長等が出席した。



政策対話・技術交流

ムン川上流かんがい維持管理プロジェクト

5.　INWEPFメンバー国との農業農村開発に関する二国間交流の実施

国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF）の活動を推進するに当たり、農村振興局とINWEPFメンバー国（韓国）との二国間交流を行った。本年度は、日本側がメンバー国に渡航し、令和６年２月５日（月）～６日（火）にワークショップ、現地視察を実施した。